

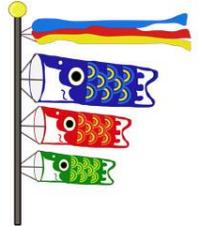
# epoch

エポック No91

～千代田区生涯学習推進委員会議だより～

平成27(2015)年5月 発行

## 第10期第5回 概要報告



平成27年3月27日、平成26年度最後の第5回生涯学習推進委員会議が開催されました。平成27年度実施のモニターコース、平成28年度の本格開校について、より具体的で詳細な内容・スケジュール案が提示され、問題点や改善点など、さらに議論を交わしました。以下、概要をお送りいたします。

## 平成27年度（仮称）生涯学習大学・モニターコース 「生涯学習コーディネーター養成講座」



### ●平成27年度スケジュール

平成27年	4月	モニターコース事務局を九段生涯学習館内に開設
	5～6月	募集要項、広報ツール作成（チラシ・ポスター等）
	7～9月	広報・募集開始（チラシの配布、ポスター掲示、区広報への掲載等）
	10～12月	モニターコース実施（全8回実施）
平成28年	1～3月	検証作業

### ●モニターコース実施後の検証内容について

- ・モニターコース受講者に対する、コース実施前、実施中、実施後のアンケート
- ・各講義の講師を担当して下さる専門家・有識者に対するアンケート
- ・九段生涯学習館にて過去に行っていた「生涯学習コーディネーター養成講座」の参加者約30名に対するアンケート
- ・生涯学習推進委員にモニターコースを見学してもらい、改善点等、適宜意見を伺う
- ・各自治体の生涯学習大学、市民大学等の調査を行い、比較・検証して課題を抽出する



## 平成28年度の本格開校について



### ●（仮称）生涯学習大学 概要

#### ▽コース

- ・生涯学習コーディネーター養成コース
- ・ボランティア養成コース

#### ▽学習メニュー

- ・基礎科目：千代田区のことを学ぶ授業
- ・専門科目：コースごとに専門的な知識を学ぶ授業
- ・演習科目：専門科目をより深める実習授業

#### ▽授業回数ほか

- ・対象：区民、区内在学者、区内在勤者

- ・受講期間：2年制

- ・授業回数：20～30回程度（年間）

- ・定員：30名程度

### ●卒業後の活躍の場について

#### ▽人材バンク登録

九段生涯学習館にて実施している「千代田区生涯学習人材バンク制度」に登録をしていただき、区内で活動しているサークルや、活動をはじめようとしている個人の方々の方々の力になっていただく。



現在の人材バンク制度は「人材バンク活用講座」で講座を実施していただき、そこから新たなサークルなどを発足させることが主たる目的だが、今後は既存サークルの支援なども主たる目的として確立していくことを目指す。



### ▽自主グループ活動

上記「人材バンク講座」から新たなサークル活動につなげる、または自ら既存のサークル・団体に参加するなど、サークル活動の活性化につなげていく。

### ▽地域活動

「千代田区生涯学習人材バンク制度」にて積極的に地域活動支援を行っていく広報をし、地域の広報・地域イベントへの協力・地域活性化のための支援等を行う。さらに、区内各種関係機関・団体スタッフとして地域活動を支えていく。

### ▽生涯学習大学のスタッフとして

「千代田区生涯学習人材バンク制度」から、生涯学習大学の授業内においてファシリテーター役（コーディネーターボランティア）として活躍する方々を募集し活用する。



### ●各機関との連携について

#### ▽大学・専門学校

区内大学・専門学校との連携については、平成 27 年度中に各大学・専門学校に対しての営業を行い、平成 28 年度の正式開校で一部導入、随時拡大を図る。

### ▽図書館、九段生涯学習館

九段生涯学習館にて実施している各種事業との連携、また日比谷図書文化館の「日比谷カレッジ」との連携も可能である。日比谷図書文化館の交流支援室を卒業生の場として活用することも検討していく。

### ▽区内 文化・学習・スポーツ講習会等

九段生涯学習館、日比谷図書文化館以外の区内各施設における講習会との連携については、各所管部署との調整・指定管理者との調整が必要となる。平成 28 年度の正式開校のタイミングで、カリキュラムに一部反映させる。

### ▽関係機関・団体

各自治体で実施する生涯学習大学の課題として、卒業生が活躍する場がないことが問題となっている。関係機関・団体については、2 年次における演習場所及び卒業後の活躍する場の提供等、協力依頼を行っていく。



### ●今後の検討課題

- ・正式開校に向けた(仮称)生涯学習大学の基本方針
- ・年間授業回数等の設定案の再確認
- ・授業場所の確認（九段生涯学習館、日比谷図書文化館の利用率の問題）
- ・大学の正式名称、コースの名称
- ・事務局業務の再確認
- ・受講料、講師料等の設定



### 質疑応答・意見交換

○私の学校では保育の学科がある。潜在保育士、すなわち保育士の資格は持っているが現場から離れている方などに保育を教える場合は、教える側にもより専門的な知識が必要になる。モニターコースで予定されている「専門科目」がどういったものなのか、具体的に決まっているのか。

⇒基本的には、生涯学習を推進していく目的と、地域の活動の支援を行っていくという目的がある。地域とつながる意味でのボランティアがどういうものか、実際に地域を知るとはどういうことか、大学教授等の専門家にご協力いただ

く予定である。また、ほかにもどういった内容が良いのかは、会議の中でも検討したい。

○「基礎科目」では千代田区のことを学ぶことになるが、千代田区とひとことで言っても歴史、土地など幅広くある。「千代田区」で一括りにするには難しいと思うが、たとえばどういった内容を想定しているのか。

⇒千代田区自体がどういった人口構成なのかというような統計的なところから、文化・産業・地域性等、総合的に学ぶ必要があると思う。1 回の授業ではなく数回に分けて、内容によって

は商工会や教育委員会の方々、もちろん区民の方々にもご協力いただきたいと考えている。本来の意味での生涯学習とは、好きなことだけを学ぶものではないので、千代田区に関してのさまざまな分野の内容をある程度知っていけるような設定になるかと思う。

- 「基礎科目」で学ぶ千代田区の内容については、小学校 3 年生の社会の副読本をレベルアップしたような、さまざまな角度から扱う形になると良いのではないか。
- 専門学校は授業内容に専門的な内容が多いため、連携が少し難しいと思う。
- 1 年間ずっと授業を受けていれば面白く感じる場所も、1 回だけだと面白さを感じにくいこともある。一般の方も学習可能な範囲で、専門学校の方々にはご協力いただければ良い。



- 「千代田区生涯学習人材バンク制度」の登録をすると、こういった形で情報やプロフィールなどが載るようになるのか。  
⇒さまざまなパターンがあり、ある自治体では、直接ホームページ等に名前や連絡先を載せて、あとは個人でやりとりしていただくという手段を採っているところもある。(仮称)生涯学習大学については、まだ先が見えない部分も多いため、最初からすべてを個人同士に任せることはせず、クッション役として事務局が入りたいと考えている。
- 人材バンク登録をしてコーディネーターとなった人が、こういったボランティアや地域活動に協力できるのか、ホームページでの文字情報だけでなく実際に演示できるような機会があれば良いと思う。

○昨今では、ITテクノロジーを利用した授業形態や学習プログラムが多く組まれている。そういった媒体での展開は考えていないのか。

⇒イーラーニングシステム等との連携については第 9 期の提言の中でも触れており、将来的にそういった方向へも進められると思う。ただ実感としては、直接施設に足を運んで学んでいく方が、オンデマンドよりも続けやすいような印象がある。

○区内各大学や専門学校等の各関係機関へ営業を行うとあるが、どのような形で営業を行い、連携していくのか。

⇒すでに千代田区内にある大学等のオープンカレッジの窓口とは連携がとれている。ただし、各種学校にはそれぞれ学校の狙いがあり、必ずしも(仮称)生涯学習大学の目的と合致するとは限らない。こちらの 1 つの講座と捉えたときに上手く連携できるかについては、検証を進めながら検討していく必要がある。

○修了の要件についても検討していく必要がある。通常の大学等では 3 分の 2 以上の出席、かつ 1 回 90 分の授業を 15~16 回で 2 単位、が一般的だが、そういったものに合わせるか合わせないかという課題もある。

○単位制のように線引きした方が参加率は高くなると思う。学習したことを認証するようにした方が、ボランティアの自信につながるのでは。

○通常の対象者は「区民・在勤・在学」となっているが、「その他、区が認める者」のように例外を作って、区外在住で、区外で働いていても、長年千代田区でサークル活動をやっている等、門戸を広げて良い。

○現在、九段生涯学習館等の区立施設を使用してさまざまなサークル活動を行っているが、(仮称)生涯学習大学の授業が入り、そのような活動が制限されてしまうこともあるのか。

⇒区民の方々の生涯学習活動には支障がない範囲で実施していく予定である。



「コーディネーター同士でできること」

武藤 祐子

「何かボランティアをしてみたいけど、どんな活動がありますか？」という相談がボランティアセンターの窓口によく寄せられます。私たちボランティアコーディネーターは、そのような相談者に寄り添い、その方が大切にしていること、得意なこと、ボランティアを始めてみようと思ったきっかけなどを伺いながら、「何か」から「これをやってみたい」と気持ちに変化し、活動を選ぶお手伝いをしています。私たち自身がどれだけ情報を持ち、本音を引き出し、必要に応じた情報を提供できるのが腕の見せ所となります。

昨年、生涯学習推進委員になり、生涯学習の分野におけるコーディネーターの役割の重要性を学び、どのような場面においても、「結びつける」人の役割が求められていることを認識しました。「学ぶ」ことは人生を豊かにします。「学び」を楽しむ環境がもっと充実し、「学び」の楽しさを共有できる仲間に出会える場が増えたらいいなと思っています。

でも、もしもその中から、学んだことを社会に役立てたい、地域に貢献したいと思う人たちがいた時、生涯学習コーディネーターがその方に寄り添いながら、私たちボランティアコーディネーターにもつないでいただきたいと思います。両者がお互いの強みを活かしながら連携してサポートできたら、千代田区の福祉のまちづくりがもっとすすむのではないかなと思っています。

「印象深いありがとう」

五島 愁子

今年2月に開催された東京マラソンに千代田区スポーツ推進委員からスタッフとして参加しました。前日はランナーの受付会場になっているビックサイトも見学してきました。

大会当日はスタート前まで小雨がパラつき選手の方々の体調も心配でしたが、お天気も良くなりビニールカップなど着用して走られた方も途中脱ぎ私達に手渡されました。大きな声で「スタッフの皆さん有難うございます」と言って元気に走り去って行く姿が印象に残っています。またハイタッチをされる方も数多くいて、ランナーのコスプレも沿道の応援に来ている方々も楽しませてくれました。

(ハイタッチは危険なのでしないように言われておりますが、ランナーにとって辛い時皆さんとタッチすることでモチベーションが高くなるそうです)

タイムに挑戦し、真剣に走る方、楽しんで走る方など様々ですが、42.195 km完走された方は素晴らしいですね。私も2020年東京オリンピック、パラリンピックでお手伝い出来る事があれば参加したいと思っています。

(仮称)生涯大学でボランティア養成コース(平成30年開校)に受講された方々が地域や色々な方面で活躍されることを期待しております。

～編集後記(事務局より)～

第10期第5回のエポックは、平成27年度の具体的なスケジュール、平成28年度の本格開校について詳細な議論を中心にお送りいたしました。

また、年度初めのお忙しい中、リレー随筆をお引き受けいただいた武藤委員、五島委員に心から御礼申し上げます。

次号エポックも、よろしく願いいたします。

～編集・発行～

千代田区 地域振興部 生涯学習・スポーツ課  
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1  
TEL: 03 (5211) 3632  
FAX: 03 (3264) 1466  
E-mail: shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp